

関西館

京都、大阪、奈良の3府県にまたがる「けいはんな学研都市」に位置し、アジア関係資料や博士論文等特色ある資料の収集・整理・保存・提供を行います。

また、図書館員を対象とした研修等の図書館協力事業やデジタル化資料の提供等の電子図書館事業、来館せずに所蔵資料を利用できる遠隔利用サービスの拠点を担います。

図書館協力事業



国内の図書館と連携した「レファレンス協同データベース」や「国立国会図書館総合目録ネットワーク」の運営、ウェブ会議システムやYouTubeも活用した図書館員向けの研修、国内外の図書館や図書館情報学の動向に関する調査及び情報提供、障害者サービスを実施する図書館への支援、視覚障害者等用データ(DAISYや点字データ等)の収集・送信サービス及び国際交換サービス等を実施している。

資料・情報提供、レファレンス



東アジアから中東・北アフリカまでの幅広い地域のアジア言語資料、博士論文、科研費報告書等、特色ある資料のほか、各分野の概説書や参考図書など調査に役立つ資料を所蔵し、来館利用者に閲覧・複写・レファレンス等のサービスを提供している。また、遠隔複写・図書館間貸出し・デジタル化資料送信サービス等、個人向け・図書館向けの遠隔利用サービスの窓口としての役割も担っている。

電子図書館事業

関西館所蔵資料のデジタル化を行うとともに、国立国会図書館及び他機関がデジタル化した資料を提供している。著作権処理によるインターネット公開のほか、絶版等で入手困難な資料の図書館や個人に対する送信も実施。公的機関のウェブサイトを網羅的に、民間のウェブサイトを選択的に収集して提供し、オンライン資料(電子書籍・電子雑誌)の収集・提供も行っている。また、電子情報の保存に関する調査研究等にも取り組んでいる。



未来の図書館を作る仕事

原 聡子 電子図書館課課長補佐

インターネット上で提供される情報資源の増加に伴い、国立国会図書館では、ウェブサイトや電子書籍・電子雑誌の収集・保存に取り組んでいます。私は関西館の電子図書館課で、民間の電子書籍・電子雑誌を収集・保存し、「国立国会図書館デジタルコレクション」(https://dl.ndl.go.jp/)を介して提供する業務を担当しています。

電子書籍・電子雑誌の収集は、国立国会図書館法で電子書籍・電子雑誌の納入が出版者に対して義務付けられたことを受け、平成25(2013)年から始まりました。当初は無料で公開されている資料のみを対象としていましたが、関連法規の改正により、令和5(2023)年1月からは有料の資料の収集も開始しました。

主な業務は、出版者との収集方法の調整やメタデータの作成です。収集対象の拡大に当たっては、他の部署と協力して収集制度の見直しにも携わり、具体的な運用方法を策定しました。

収集は法律に基づいて実施しますが、紙の書籍と異なり1冊の範囲が明確でない場合があるなど電子書籍・電子雑誌の形態は様々で、収集方法や収集範囲の判断に迷うことが多くあります。そのようなときは担当者間で議論を重ね、インターネッ



納入された電子書籍を確認



ト上の情報資源を後世に残し、情報へのアクセスを保障していくために、最適な収集・保存の在り方を日々模索しています。これまでになかった資料群を相手にする仕事は困難も多いですが、地道な作業や調整、試行錯誤の積み重ねがこれからの図書館を形作っている、という手応えと責任を感じながら働いています。

今後ますますインターネット上の情報資源は増加・多様化していくでしょう。目の前の課題に向き合いながらも、目指すべき「未来の図書館」の姿を思い描き、自分なりの信念をもって仕事をするべきだと考えています。国立国会図書館はそれができる職場です。未来への熱意を持つ皆様と働ける日を楽しみにしています。

学生時代の専攻

家族社会学

Career

- H18.7 関西館事業部図書館協力課 (H19.4 関西館図書館協力課に組織再編)
- H21.4 総務部情報システム課 (H23.10 電子情報部電子情報サービス課に組織再編)
- H24.4 電子情報部システム基盤課
- H25.4 利用者サービス部サービス企画課 (H25.7 副主査)
- H30.4 総務部会計課 (副主査、R1.7 主査)
- R4.4 関西館電子図書館課 (主査、R6.4 課長補佐)